

# 身近な疾患

## —便秘型 IBS 治療についての話題—

日 時 6月3日(土) 午後5時～

会 場 兵庫県保険医協会 会議室(神戸フコク生命海岸通ビル5階)

(JR・阪神元町駅南へ徒歩7分、兵庫県農業会館西向)

講 師 順天堂大学医学部附属静岡病院 消化器内科 教授

永原 章仁 先生

共 催 アステラス製薬 参加費 無 料

※保険医協会未入会の方はご入会の上、ご参加下さい

IBS (Irritable Bowel Syndrome : 過敏性腸症候群) は、排便、便の頻度や形状に関連して腹痛を来すものであり、誰もが経験する症状である。わが国でのインターネット調査でも有病率は13%と高率である。IBS は、便秘型、下痢型、混合型、分類不能型に分けられる。その病態は、ストレスに対する過剰反応により、腸管運動異常、知覚過敏がもたらされ、さらに、腸内細菌、炎症、遺伝などが複雑に交絡していると考えられている。便秘型 IBS の薬物治療は、日本消化器病学会のガイドラインでは粘膜上皮機能変容薬、プロバイオティクス、高分子重合体、下剤が推奨されている。国際的定義である RomeIV では、サイリウム (オオバコ)、ポリエチレングリコール (わが国では大腸内視鏡の前処置にのみ適応)、ルビプロストン、リナクロチドが推奨されている。

2017年3月、リナクロチドが便秘型IBS治療薬として保険承認された。治験結果からは、全般改善度、腹痛・腹部不快感、便形状、便回数ともに改善し、52週にわたる長期投与においても効果が維持された。諸外国と比較して、わが国では保険で処方できる薬剤が限られているが、リナクロチドの承認により、ようやくギャップが縮まったのである。 【永原 記】

兵庫県保険医協会 神戸市中央区海岸通 1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル 5階 TEL/078-393-1803

お申し込み F A X 078-393-1820

■参加申込書 第529回診療内容向上研究会(6/3)

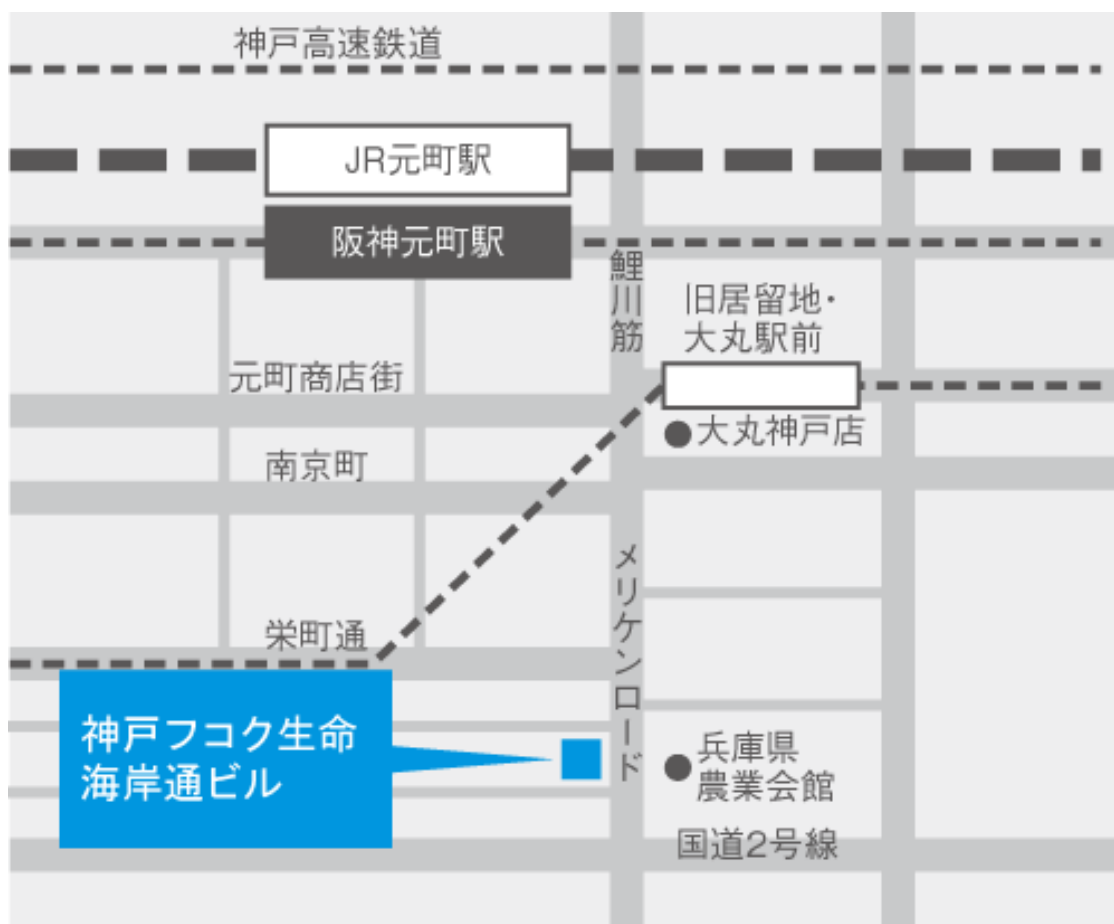
市区郡名

病・医院・薬局名

Tel

氏名：	医師 ・ 歯科医師 ・ 薬剤師 ・ 看護師 ・ その他 ( )
氏名：	医師 ・ 歯科医師 ・ 薬剤師 ・ 看護師 ・ その他 ( )
氏名：	医師 ・ 歯科医師 ・ 薬剤師 ・ 看護師 ・ その他 ( )

【会場地図】



まだないくすりを  
創るしごと。

世界には、まだ治せない病気があります。

世界には、まだ治せない病気とたたかう人たちがいます。

明日を変える一錠を創る。

アステラスの、しごとです。



明日は変えられる。

 **astellas**  
アステラス製薬

[www.astellas.com/jp/](http://www.astellas.com/jp/)